

## 日本での大切な経験

梨花女子大  
パク・シヒョン

交換留学生として一人で海外で生活し勉強する経験は独立心と責任感を育てるのに大きく役立ちました。一人で飛行機に乗って学校まで行く小さい経験は他国で一人で生きていけるという自信を与え、予想できない状況でも落ち着いて対処できる柔軟性を伸ばせました。また、この経験から言語の重要性をたくさん感じましたが、日本語ができなかったら今ほど自信を持てなかったと思います。

お茶大の留学生の授業である「日本語練習」と「日本事情練習」は日本語実力をつけるのに大きく役立ちました。特に日本語で発表する機会が多かったおかげで日本語で会話する時自信ができました。また毎週の火曜日の昼休みに開かれた日本語カフェや言語交換プログラムの「タンデム」を通じて日常でよく使われる日本語表現を学ぶことができました。日本の文化を理解しながら言語を学んだので日本という国を理解するのに大きく役に立ちました。

また、異なる生活様式や言語、習慣を持つ人々と一緒に過ごしなが、より多様な観点で世の中を眺めようと努力するようになりました。お茶大の友達とチューター、私のような留学生と付き合いながら文化的な多様性について深く考えることができました。そして「日本事



情演習 5」を通じて、もしかしたら私は排他性を持った視線で他者を判断しているのではないかと振り返ってみようになり、他者の言語と文化を学ぶことがどれほど重要なのかをもう一度わかりました。

私は歴史を専攻しているので普段から日本史に関心がありますが、神田先生のおかげで日本の近世史料を読んで分析する「日本近世史料演習 I」を受講することができました。本校では史料を読む授業がほとんどなく、この授業が歴史を理解する上で非常に有益な経験になりました。歴史文献や資料を原本言語で接することで、日本史についてより正確に理解できたと思います。

多くの方々の助けを受けたおかげで、今学期を無事に終えることができました。まず、私の指導教員である神田先生とチューター奈菜子さんに深く感謝申し上げます。外国から来た留学生たちを親切に指導していただき、困った状況が生じた時に助けてくださった萩原先生と学生センターの先生方にも感謝申し上げます。また、より広い視点で日韓関係を見渡せるように助けてくださった森山先生に深く感謝申し上げます。そして日本の文化と日本語を面白く簡単に教えてくださった王先生、西坂先生、山口先生、崔先生にも本当にありがとうございます。

